

企業が持つべき ソーシャルメディア 「防衛策」

注目トピックス

01 | 企業が持つべき

ソーシャルメディア「防衛策」

昨今、従業員のソーシャルメディアによる企業の情報漏えいが問題になっています。企業はどのように対策すべきなのでしょう。

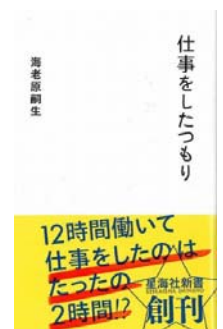
経営診断ツール

02 | SNS リスク チェックシート

話題のビジネス書をナナメ読み

03 | 仕事をしたつもり

本書では、多くの人が毎日気づかないうちにやっつけてしまっている「仕事をしたつもり」に終止符を打ち、成果につながる「真の仕事」をするための方法を紹介しています。



社会保険労務士法人 未来経営より

04 | お問い合わせについて

05 | 近況報告

企業が持つべき ソーシャルメディア「防衛策」

昨今、従業員のソーシャルメディアによる企業の情報漏えいが問題になっています。企業はどのように対策すべきなのでしょう。

はじめに

北海道山越郡長万部町のイメージキャラクター「まんべくん」。Twitter による PR を担当した企業が、まんべくんの名で過去の戦争に対し政治的に過激な発言をした結果、多数の批判を受け、同 twitter が閉鎖となった問題は記憶に新しいですが、Facebook や twitter、ブログなどのソーシャルメディアの急速な普及を受けて、企業は新しい防衛策を求められています。

本稿ではソーシャルメディア社会に対するトラブル事例と、企業の防衛策について記述します。

トラブル事例

【CASE 1】

2011 年 8 月。京都に本社を置く製菓会社の女性社員が、同僚が睡眠薬を飲み会で他人の酒に混入しているという主旨のつぶやきを twitter に投稿。

それを見たネットユーザーが批判し、「炎上」となる。投稿した社員が特定され、個人情報や写真がネットに流出。9 月 5 日には、会社が自社サイトに謝罪文を掲載した。
(日本経済新聞 WEB ニュースより転載)

【CASE 2】

同年 1 月、東京都目黒区の高級ホテルのアルバイト従業員が勤務中に、利用客だった有名人カップルに関する情報を twitter で発信。ホテルが謝罪した。

このアルバイト従業員は、匿名で twitter に登録していたが、他のネットユーザーによって特定され、同従業員の個人情報や写真がすぐにネットに流出した。
(日本経済新聞 WEB ニュースより転載)

SNS が企業にもたらすリスクの種類

左記 2 つのケースおよび「まんべくん」事件、その他最近の報道等を踏まえると、SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) は以下の点で企業運営のリスクとなります。

- 1、反社会的言動、過激な個人的信条・思想の発信による
企業イメージ損失・コンプライアンス違反のリスク
- 2、個人情報・顧客情報等の流出リスク
- 3、企業の取引情報、営業機密・企業秘密の漏えいリスク

これらのリスクが現実のものとなることを防ぐため、企業側としては、**SNS、インターネットメディア等の使用に関するガイドラインを定め、禁止事項をあらかじめ特定し、従業員に周知させておく**必要があります。

さらには、**そのガイドラインを逸脱した場合のペナルティや損害賠償の可能性についても、就業規則その他社内規程に厳格に定めておくべき**でしょう。

若い社員は特にソーシャルメディアの使用率が高いことが予想されます。4 月に新入社員を迎える前に、規程・ガイドラインなどの整備を進められることをお勧めします。

まずは別紙「SNS リスク チェックシート」をご活用頂き、御社のリスクを洗い出してみてください。その他ソーシャルメディア関連規程の整備については、お気軽に当事務所までご相談くださいませ。



ソーシャルメディアに関してどれだけのリスクがあるか？

SNS リスク チェックシート

2012 年版
チェックシート

以下のチェック項目にお答えいただき、FAX かメールにてご返送下さい。
診断結果をご連絡いたします。

チェック項目

No	チェック項目	YES	NO
1	企業で運営しているブログがあり、投稿者が従業員である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	企業で運営している Facebook ページ、twitter 等があり、投稿者が従業員である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	公式ブログ、Facebook 等の投稿者は、投稿をどこでもできる環境にある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	顧客の個人情報を取り扱う業種である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	SNS の投稿記事を、事前に社内チェックしてアップロードしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	営業上の企業機密情報について、機密事項保持誓約書などがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	個人が発信した情報によって、企業が直接または間接的な損害を受けた場合の規程を定めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	社員のプライベートな SNS ・ブログ等の発信情報について、企業が把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	政治的信条・宗教色の強い投稿について、制限をする規程がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	営業活動について、社員個人の携帯電話を使用させている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	インターネット上で公開してはいけない機密事項・個人情報について、特定している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	今までに、ソーシャルメディアの使用について、社内外でトラブルがあったことがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

FAX のご返送は **0263-32-7684** まで

貴社名		ご担当者名	
ご住所		E-mail	
TEL		ご要望を	
FAX		お書き下さい	

仕事をしたつもり

海老原 嗣生 著

単行本：227 ページ

出版：星海社新書

価格：820 円（税別）

はじめに

従業員が朝早くから夜遅くまで一生懸命働いているのに、生産性の上がない部署はありませんか？著者は、そのような部署の従業員は、「仕事をしている」のではなく「仕事をしたつもり」になっているのではないかと疑問を呈しています。

本書は、多くの人々が陥ってしまっている「仕事をしたつもり」状態に終止符を打ち、成果に直結する「真の仕事」をするための考え方や方法を紹介していますので、従業員の皆さまにお勧めできる 1 冊です。

「仕事をしたつもり」とは

まず、本書のテーマである「仕事をしたつもり」とは一体どのような状態なのかを、以下に示します。

- けっこう一生懸命、仕事をしている
- まわりもそれを認めていて、非難する人はいない
- 本人はその行為にまったく疑問を持っていない
- しかし、成果はほとんど出ない

極端に言えば、いまの業績の 8 割以上は働いているうちの 2 割程度の時間であげることができて、残りの 8 割の時間はほとんど意味のない仕事をしている＝「仕事をしたつもり」状態なのではないか、と著者は言います。

また、近代化した組織には「仕事をしたつもり」が高度化して蔓延していると考え、**ルールや体裁を整えることこそが自分の仕事なのだ**と勘違いしている状況に早く気付くべきだと主張しています。

中身より形にこだわる「ハコモノ志向」

営業課長が部下に対して、「この目標を達成したいなら、1 日 200 件、お客様に電話をかける！」というケース。

この「1 日 200 件」という数字は、過去の実績を基に算出されたものなので、目標にした途端に意味を成さなくなってしまうのです。

著者は、形だけの仕事を促進する影の主役が「数字」だとし、そのような「ハコモノ志向」を打ち破る方法を以下のように紹介しています。

- 1、まず一度は疑う
- 2、本当にそれだけをやっていたら成果が上がるか考える

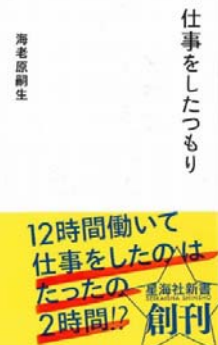
一見、説得力がありそうな数字でも、その妥当性や真の理由、成果への関連度を熟考する必要があります。

大義が引き起こす「本末転倒」

「緊急のとき以外タクシーを使ってはいけない」という社内ルールがあるため、タクシーで 5 分ほどの取引先へ電車で 40 分かけて行く従業員がいますが、これは無意味だと言わざるを得ません。

この例では、「**時間とお金の節約**」という大義の前に**道理は引込み、結局は 35 分も無駄な「仕事をしたつもり」が生まれている**こととなります。時間とお金を節約するためのルールが、むしろそのルールのせいで、時間とお金がかかりかた状況を生み出しているのです。

以上ご紹介してきたとおり、「仕事をしたつもり」ではなく「真の仕事」をするように意識すれば、不採算部署の生産性を上げることができるのです。新年という節目に今一度、従業員の業務内容が本当に「仕事」になっているかどうか、考えてみてはいかがでしょうか。



当事務所からの お知らせ

労務管理や助成金などのご相談がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

当事務所へのお問い合わせについて

今月の「労務の達人 vol. 2」はいかがでしたか？

来月も充実した内容でお届けしていきますので、よろしくお願いいたします。

なお、今回の内容に関して、ご不明点やご依頼などございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

社会保険労務士法人 未来経営	
代表	高山 正
所在地	〒390-0874 長野県松本市大手 4-6-4
営業時間	平日 8:30~17:30
電話	0263-32-2002
FAX	0263-32-7684
メール	info@mirai-keiei.net

スタッフよりあいさつ

みなさん、こんにちは未来経営の竹内です。

今年は毎日寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？

寒がりの私は、最近買った電気ケトルでお湯を沸かし、アツアツのしょうが湯を飲んでこの寒さを凌いでいます。まだまだ寒い日が続きますが、寒さに負けないようなホットな情報を労務の達人でお伝えできればと思っています。では今後とも労務の達人をよろしくお願いいたします。(竹内)